



ほっかい

水とふれあい通信

◇発行 者／岩見沢市6条西7丁目 北海土地改良区

TEL (0126) 22-2400 FAX (0126) 22-8012

URLアドレス <http://www.midorinet-hokkai.jp>

◇印刷／弘文社印刷株式会社 岩見沢市5条東11丁目



『北海頭首工通水式』

主な 内 容

令和6年通常総代会開催	2～3
令和6年度事業計画の概要	4
令和6年度予算等の概要	5～8
各種表彰・人事通信ほか	9～13
用水路転落事故防止について	14

改良区の現況
地区面積 33,036ha
組合員数 1,686人
令和5年4月対比 △81人
令和6年4月1日現在

第110号

令和6年通常総代会開催

令和6年通常総代会が、3月25日岩見沢平安閣において総代82名(定数106名)の出席、書面議決書による議決権行使20名を得て開催され、議長に山本俊彦氏(南幌町・第5選挙区)、議事録記名人に大西康夫氏(砂川市・第1選挙区)、竹内剛氏(美瑛市・第2選挙区)を各々選出し、報告3件、議案47件について慎重審議の結果、原案通り承認決定されました。



北海土地改良区理事長

長 井 眞 一

開会の挨拶

皆様おはようございます。何かとお忙しい時期にご参集頂きまして誠にありがとうございます。令和6年通常総代会の開催にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。総代の皆様には日頃より土地改良区の業務運営に際しまして、特段なるご支援とご厚意を賜っております事ににつきまして感謝とお礼を申し上げます。

令和6年1月1日、午後4時10分頃能登半島で最大震度7の地震が起きた事は日本列島に衝撃を起しました。津波や地盤の隆起、建物の倒壊など災害に遭われた方々にお見舞いを申し上げると共にいち早く復興する事を願うところです。

1月から2月にかけて時折、寒波が日本列島に入りました。当区では大雪の被害は少なく収まりましたが北陸から西日本、関東から東北まで厳しい積雪を迎えて様々な被害を受けました。しかし、2月の暖かさから3月になると寒波が入り思うよりも融雪が進まず、積雪も岩見沢でも約50センチとなり多くの渡り鳥が飛来し春の日差しを望むところです。

昨年を振り返りますと積雪も岩見沢は平年並みで、各

貯水ダムにおける積雪も平年並みと初期の水には心配しておりませんでした。しかし、幌向ダムやため池等一部の水系では節水をしながらの通水となりましたが、天候は安定し播種や植え付け作業は概ね順調に終わりました。5月美瑛地区の揚水機場の大口径の埋管の漏水事故が発覚し、補修を行いました。が上手くいかず長い期間関係支線、水系の組合員さんや役員の協力とご理解で何とか通水出来た事は感謝を申し上げます。また事故後各関係機関の協力と地元の皆様のご理解で修復が6年度の通水に間に合った事も感謝を申し上げます。

令和5年度は夏の太平洋高気圧の勢力が非常に強く、観測史上一番の暑さになりました。道内では史上最長となる44日連続30度以上の真夏日を観測し、札幌では8月23日に36度まで上がり観測史上最も高くなりました。また台風の影響も少なく特異な天候でした。作物に生育の影響があり小麦はあまり良くなり、米も指標は全道で104とやや良ですが、白米熟米が多い結果となりました。他の作物も相場の値が良くても高温で生育不良病害虫の発生の影響を受けて思うような出荷が出来ず良い結果を得る事は難しい年となりました。

世界的にも2023年の平均気温が観測史上最も高く異常高温が発生した他、熱波や干ばつ、大規模な洪水、山火事などが多発し、その影響を受けて農作物の不作が深刻化し、食料価格が高騰しました。

リビアでは9月に発生した地中海熱帯低気圧ダニエルによる大雨の影響で1万2350人が命を落としました。

また、ソマリア、カメルーン、などでも大雨や洪水、サイクロンなどによる大きな被害がありました。カナダでも森林火災により約185万平方キロメートルが焼失し、アマゾン川の流域では観測史上最悪の干ばつに見舞われ、川幅が1年で約半分になったとの報告もされています。ロシアのプーチン大統領のウクライナへの侵略戦争が2年続き、世界的に輸入小麦価格等の高騰や様々な経済活動に、更には環境問題等に大きな影響を与える事を心配するところでは。何とか穏やかな世界に戻る事を強く願います。

このような異常な気候を考えるとより農業農村整備事業を進める事が大切だと思います。その為には予算を心配するところではありましたが、各関係機関、関係者の要

請が実り農業農村整備事業関係予算は、令和5年度補正予算で、1777億円、今国会が開催されていますが、令和6年度当初予算では、4463億円が措置され、補正と当初予算を合わせた令和6年度執行ベースで、6240億円が確保されます。また、北海道分には、農業農村整備事業で1257億円が措置され、当区といたしましても国営・道営事業等を数多く実施予定している中、更なる事業推進を円滑に進めるためにも当初予算の確保が重要だと考えています。

食料・農業・農村基本法の改正に併せて食料供給困難事態対策法案と農地法改正案が国会において検討されています。これは大きな農業の転換期になるのではないかと考えています。しかし足りない時の対応よりも今、従事している者が継続できるように農業者にとって不都合にならないように注視していかねばならないと思うところです。異常気象や円安、物価高等の色々な問題もありますが、いっそう水利施設の省エネ・効率化や農機具の自動走行が効率的にできる農地整備事業の推進が大切な事と考えます。

当区の大きな問題は電気代の高騰です。電気料高騰は要請運動が実り令和5年度補正予算で対処していただきました。しかし6年度は4月、5月でその交付金も終わります。令和6年度は5億2300万円と想定しなければならぬのです。さらなる要請活動はもちろん、運営基盤の強化や事業推進を行ってまいります。しかし、6年度以降の予算を考えると、平成23年から経常賦課金を上げずに維持してきましたが、6年度は不足するのはあきらかであり今回の総代会に賦課金の増額をお願いすることとなりました。審議の検討をよろしく願います。

本年は桂沢ダムの完成により関係水系は通水期間が長くなります。他の各ダム貯水池や河川周辺の積雪は平年よりも110%程と多い所と若干少ない所がありますが、水路の確認を順調に進める事で通水初期の水管理は予定通りと考えます。毎年の特異な天候の変化に対応することや、水活の見直しに伴い施設改修費用の増加・節電の推進等、組合員皆様の理解とご協力を頂きながら対応していくことが大切な事と考えています。

本日は報告事項3件、議案47件、慎重審議をお願い申し上げて開会の挨拶といたします。

提案された案件は次のとおり

報告事項

- 第1号 令和5年度 財産(土地)の報告について
- 第2号 令和5年度 財産(権利)の報告について
- 第3号 監査報告について

議案事項

- 第1号 令和5年度 土地の取得について
- 第2号 令和5年度 土地の処分について
- 第3号 令和5年度 土地の処分に伴う補助金返還について
- 第4号 令和5年度 かんがい施設の補償変更について
- 第5号 令和5年度 換地清算金の取扱いについて(変更)
- 第6号 令和5年度 道営事業分担金の納入変更について
- 第7号 令和5年度 道営事業分担金に対する農林漁業資金の借入変更について
- 第8号 令和5年度 水田・畑作経営所得安定対策等支援資金の借入変更について
- 第9号 令和5年度 団体営土地改良事業の施行変更について
- 第10号 令和5年度 団体営土地改良事業に対する農林漁業資金の借入変更について
- 第11号 令和5年度 財政調整積立金の費消変更について
- 第12号 令和5年度 職員退職給付引当積立金の費消変更について
- 第13号 令和5年度 転用決済金積立金の費消変更について
- 第14号 令和5年度 国営償還準備積立金の費消変更について
- 第15号 令和5年度 道営等負担積立金の費消変更について
- 第16号 令和5年度 北海土地改良区一般会計第3回収入支出補正予算について
- 第17号 令和6年度 事業計画の設定について
- 第18号 第6次中期5ヵ年計画の経常賦課金の見直しについて
- 第19号 令和6年度 道営土地改良事業の施行申請について
- 第20号 令和6年度 換地清算金の取扱いについて
- 第21号 令和6年度 道営事業分担金の納入について

- 第22号 令和6年度 道営事業分担金に対する農林漁業資金の借入について
- 第23号 令和6年度 水田・畑作経営所得安定対策等支援資金の借入について
- 第24号 令和6年度 経営安定対策基盤整備緊急支援事業の実施について
- 第25号 令和6年度 中心経営体農地集積促進事業の実施について
- 第26号 令和6年度 事業負担金対策の借入について
- 第27号 令和6年度 土地改良施設維持管理適正化事業並に施設改善対策事業の申請及び拠出について
- 第28号 令和6年度 土地改良施設維持管理適正化事業並に施設改善対策事業の施行について
- 第29号 令和6年度 団体営土地改良事業の施行について
- 第30号 令和6年度 団体営土地改良事業に対する農林漁業資金の借入について
- 第31号 令和6年度 非補助土地改良事業に対する農林漁業資金の借入について
- 第32号 令和6年度 財政調整積立金の費消について
- 第33号 令和6年度 転用決済金積立金の費消について
- 第34号 令和6年度 道営等負担積立金の費消について
- 第35号 令和6年度 一時借入金について
- 第36号 令和6年度 歳入金の預け先金融機関について
- 第37号 令和6年度 北海土地改良区賦課金課率及び徴収時期・方法について
- 第38号 令和6年度 畑地化協力金の徴収について
- 第39号 令和6年度 農地転用等の土地に対する決済金の徴収について
- 第40号 令和6年度 地区加入金の徴収について
- 第41号 令和6年度 役員等の報酬額について
- 第42号 北海土地改良区定款の一部改正について
- 第43号 北海土地改良区規約の一部改正について
- 第44号 北海土地改良区地区除外等処理規程の一部改正について
- 第45号 北海土地改良区畑地化協力金徴収規程の一部改正について
- 第46号 北海土地改良区会計細則の一部改正について
- 第47号 令和6年度 北海土地改良区一般会計収入支出予算について

令和6年度事業計画の概要

本年度、事業計画の柱として次の3項目を重点事項と位置付け、精力的に推進して参ります。

第1. 農業農村整備事業の計画的推進

(一) 国営かんがい排水事業

本年度、かんがい排水事業継続の北海道、幌向川二期地区の推進に万全を期して参ります。

また、農地再編整備事業においては、美唄、茶志内地区・美唄地区・岩見沢北村地区及び岩見沢大願地区の推進に万全を期して参ります。

(二) 道営事業

本年度「次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業」(第6次パワーアップ事業、令和3年から令和7年までの5年間実施)の下、最大限の負担軽減を図り、新規(調査4地区・着工1地区)を含め、39地区を実施します。

第2. 地域資源の適正な保全管理

(一) 地域との連携強化

水と土を守り育ててきたこれまでの役割に加え、ふるさとの歴史や文化の継承、環境・景観の形成など多面的な機能を果たしている豊かな農村環境と貴重な資源を、次の世代に引き継いでいくためにも、その有効活用と適切な保全管理に、更なる地域との連携と協力をいただき進めて参ります。

● 水利施設管理強化事業

(旧国営造成施設管理体制整備促進事業)

● 多面的機能支払制度

(農地・水保全管理支払交付金)

● 21世紀土地改良区創造運動

(啓発普及活動)

第3. 第6次中期計画の見直し

(R6、R7年経常賦課金)

第6次中期計画の残年数の(R6・R7年)2ケ年につき、経常賦課金の見直しをする(資材等高騰及び電気料金高騰に伴う)

— 土地改良事業償還金について —

土地改良事業償還金について確認したい方は下記担当部署に連絡下さい。
※事業継続地区は、最寄りの各土地改良センター担当者に問合せ下さい。

■ 連絡先 北海土地改良区 ■

- | | | | |
|---------|---------------------------------|---------|---------------------------------|
| ● 賦課調整課 | 岩見沢市6条西7丁目1番地
☎ 0126-22-2400 | ● 砂川事業所 | 砂川市三砂町12番地
☎ 0125-52-2006 |
| ● 美唄事業所 | 美唄市東5条南7丁目
☎ 0126-62-2177 | ● 南幌事業所 | 南幌町北町2丁目2番14号
☎ 011-378-2540 |

令和6年度予算の概要

総 額 5,943,000千円とする！

令和6年度 一般会計予算書

収 入			支 出		
(単位：千円)			(単位：千円)		
款	予 算 額	説 明	款	予 算 額	説 明
土地改良事業収入	2,420,153	経常賦課金収入 1,650,700 特別賦課金収入 590,032 加入金収入 1 転用決済金収入 2 負担金収入 5,418 繰上償還金収入 174,000	土地改良事業費支出	1,854,104	維持管理費支出 344,090 頭首工維持費支出 20,525 貯水池維持費支出 17,958 溝路維持費支出 128,361 揚水機維持費支出 673,821 助成対象揚水機維持費支出 5,900 適正化事業費支出 136,490 適正化事業拠出金支出 45,250 非補助維持管理事業費支出 1 中心経営体農地集積促進事業費支出 353,903 農業水路等長寿命化・防災減災事業費支出 51,000 補償工事事業費支出 1 委託業務費支出 1,700 国営受託業務費支出 10,000 道営受託業務費支出 65,104 団体営受託業務費支出 0
附帯事業収入	10,308	他目的使用料収入 10,258 手数料収入 50	一般管理費支出	491,016	運営事務費支出 472,751 事務所費支出 18,265
基本財産運用収入	1,043	基本財産利息収入 8 基本財産賃貸料収入 1,035	土地改良事業負担金支出	1,659,959	道営事業分担金支出 1,650,529 その他負担金支出 9,430
特定財産運用収入	3,964	特定資産利息収入	借入金返済支出	1,486,792	公庫資金償還金支出 1,380,435 その他の借入金返済金支出 106,357
補助金等収入	1,335,454	補助金収入 392,176 助成金等収入 943,278	支払利息	20,287	借入金利息
交付金収入	103,950	適正化事業交付金収入	固定資産取得支出	23,093	土地取得支出 1 車両運搬具取得支出 7,000 器具備品取得支出 4,718 ソフトウェア取得支出 11,374
寄付金収入	1	寄付金収入	出資金支出	2	出資金支出
業受託料収入	83,299	土地改良施設操作受託料収入 7,995 調査業務受託料収入 70,000 監督補助業務受託料収入 5,104 土地改良事業業務受託料収入 200	支払換地金清算支出	35,600	換地清算金支払金支出
雑収入	4,094	受取利息配当金収入 221 過年度収入 1 過怠金収入 3 その他雑収入 3,869	納付換地金清算支出	35,600	換地清算金納付金支出
借入金収入	1,542,230	公庫資金借入金収入 1,119,137 その他の借入金収入 423,093	基本財産積立支出	1,127	備荒積立金支出
特定資産取崩収入	287,303	財政調整積立資産取崩収入 11,888 職員退職給付引当積立資産取崩収入 0 転用決済金積立資産取崩収入 38,902 国営償還準備積立資産取崩収入 0 道営等負担積立資産取崩収入 236,513	特定資産積立支出	327,370	財政調整積立資産積立支出 34,253 職員退職給付引当積立資産積立支出 32,333 役員退任慰労金積立資産積立支出 4,571 転用決済金積立資産積立支出 7,399 財産処分積立資産積立支出 1,100 国営償還準備積立資産積立支出 1,441 道営等負担積立資産積立支出 246,273
固定資産売却収入	1	土地売却収入	雑支出	50	その他雑支出
交付換地金収入	35,600	換地清算金交付金収入	予備費	8,000	
徴収換地金収入	35,600	換地清算金徴収金収入	支出合計	5,943,000	
繰越金	80,000	前年度繰越金			
収入合計	5,943,000				

令和5年度 第3回 補正予算可決

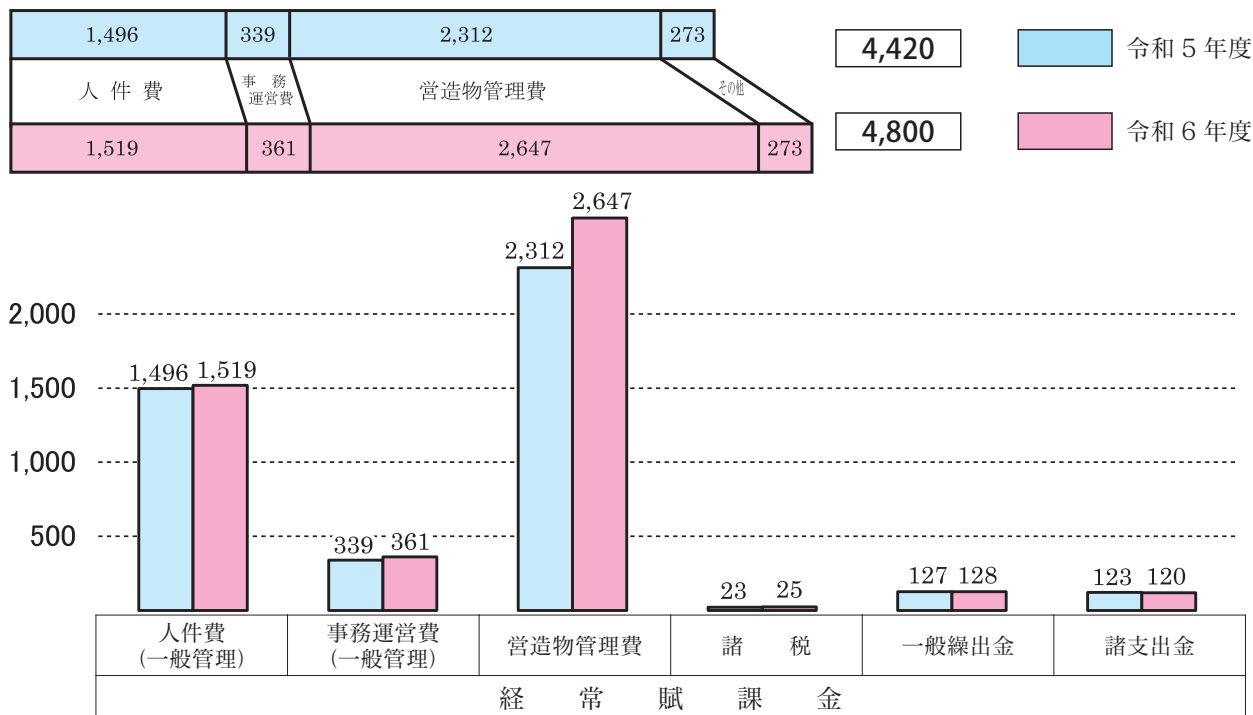
一般会計 191,000千円減額！

令和6年通常総代会において、各種事業の変更等を主たる要因として191,000千円減額し総額5,749,500千円とする第3回補正予算を可決した。

令和6年度の賦課金について

経常賦課金(地積割) 4,800円で決定!

①令和5・6年度 10a 当たり経常賦課金内訳 (単位: 円)



②特別賦課金 (一般償還賦課金) 円/10 a 当り

区 分	償 還 賦 課 金 (地積割分)	徴収区分及び納期
一般地区 (A)	1,200 円 北海地区	第 2 期 100% (11/15)
一般地区 (B)	1,400 円 中村地区	
一般地区 (C)	800 円 三笠地区(前田・小野・鈴木の沢区域)	
一般地区 (D)	1,500 円 岩見沢地区・栗沢地区	
共 通 地 区	800 円 奈井江地区・三笠地区(ヌッパ・仙太郎の沢区域) ・南岩見沢地区・東栗沢地区	
共通地区(畑)	160 円 岩見沢畑一般地区	

※ 経常賦課金(地積割)円/10a 当り

・畑かん地区(用排 100%)～960 円 ・畑かん地区(排水 25%)～240 円 ・畑(畑地化支援)～2,026 円

※ 北海地区については、積立金対応により **300円減額**(平成 23 年度以降の加入・地区編入を除く)。

※ 三笠地区・南岩見沢地区・東栗沢地区については、一部積立金にて対応。

賦課金の納期納入にご協力を!

令和6年度賦課金の徴収期日は、下記の通りとなります。納期までに納入して下さい。

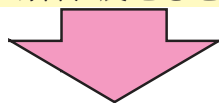
◎第1期 **6月15日～7月15日** (経常賦課金の70%)

◎第2期 **10月15日～11月15日** (経常賦課金の30%及び特別賦課金)

賦課金納入等についての問い合わせは、**賦課調整課・各事業所**にお願いします。

令和6年度の農地転用及び決済金

農地が道路等の公共工事で買収された場合、農地を宅地等の農地以外に転用する場合、水田を畑に転換する場合は、



当区にて、地区除外の手続きを行い、決済金を納める必要があります。

- ※1 当区への申請がない限り、転用箇所に対して毎年4月1日に賦課金が発生します。
- ※2 農地転用に伴い、土地改良区の意見書が必要な場合、交付には1週間前後の日数を頂きますので、余裕を持って申請してください。
- ※3 公共用地への転用は農地法に基づく転用手続きが免除されており土地改良区に通知されません。事業主体との説明会・用地買収・契約調印の際は、当区への除外申請が必要になりますので、**借地であっても土地改良区へ手続きする**ようお願い致します。

決済金とは

- ① 土地改良事業により、土地改良区が負担する事になっている負担金
- ② 事業負担金の内、借入れをしている分の償還金
- ③ 土地改良施設の維持管理費の面積減少分（基準維持管理費の20年分）を合計したものです。

但し、転用目的により下記減免措置が適用されますので、詳細についてはお問い合わせ願います。

決済金に係る地区別一覧表

(円/10a)

地区名	区 域	決済金	減 免 措 置			
			土 地 改 良 施 設 敷 地	組合員の営農に要する敷地	一般畑に用途変更する場合	農業団体が必要とする敷地
			農業用排水路・揚水機場・農道	自己の宅地・倉庫・堆肥場・農道・用排水路・防風林・水稲苗畑	農 振 内 一般 畑	事務所・倉庫・水稲育苗施設・資材置場・ライスセンター
北 海	全地区	138,010	0	26,030	65,220	82,020
中 村	全地区	138,760	0	26,780	65,970	82,770
三 笠	前田・小野・鈴木の沢 ヌッパ・仙太郎の沢	138,010	0	26,030	65,220	82,020
	岡本の沢・吉備用水・青山	111,980	0	0	39,190	55,990
岩 見 沢	田	139,470	0	27,490	66,680	83,480
	畑（一般地区）	27,580	0	5,190	13,020	16,380
南岩見沢	全地区	138,010	0	26,030	65,220	82,020
栗 沢	全地区	142,430	0	30,450	69,640	86,440
東栗沢	全地区	138,010	0	26,030	65,220	82,020
奈井江	全地区	138,010	0	26,030	65,220	82,020

尚、次の事項に該当する場合は、上記決済金とは別に精算をすることになります。

- 1. 当年度賦課金（1期・2期）
- 2. 過年度賦課金の未納額
- 3. 国営事業負担残元金（事業完了地区分）
- 4. 償還残元金（個人別負担分）
- 5. 農地転用特別決済金（補助金返還）
- 6. その他協議により負担をする事となった場合の金額

《 なぜ決済金が必要なのか 》

農地転用によって地区内の農地面積が減ると、残った受益農地（組合員）に対する土地改良施設の維持管理負担が増えてしまいます。面積減少により組合員の負担が過重とならないように、土地改良受益地区から農地を除外する場合は、**土地改良法第42条2項**に基づき、**決済金の納入が必要**となります。

令和6年度の主な事業

1. 国営土地改良事業

(単位：千円)

事業名	地区名	事業費	主たる事業量(当区関連)
かんがい排水事業	北海	3,820,000	北海幹線用水路 L=2.4km 岩見沢幹線用水路 L=0.7km 測量調査設計等～1式
かんがい排水事業	幌向川二期	620,000	朝日頭首工 N=1箇所 測量調査設計等～1式
農地再編整備事業	美唄茶志内	368,000	完了整備～1式
農地再編整備事業	美唄	6,750,000	区画整理 A=233ha 支線用水路 L=2.3km 揚水機場 N=1箇所
農地再編整備事業	岩見沢北村	3,123,000	区画整理 A=88ha 支線用水路 L=1.5km 測量調査設計等～1式
農地再編整備事業	岩見沢大願	1,383,000	区画整理 A=25ha 支線用水路 L=1.3km 測量調査設計等～1式
計	6	16,064,000	

2. 道営土地改良事業

(単位：千円)

事業名	地区数	事業費	地区名
水利施設等 保全高度化事業	6	239,100	大富20号、二幹川第3、中樹林第5、岩幌、中村第1 (調査計画～三号川)
農村地域防災減災事業	2	152,700	峰延1、峰延2
農業競争力強化 農地整備事業	33	11,770,920	茶志内東2、高島東、進徳一心第1一期、進徳一心第1二期、 進徳一心第2一期、進徳一心第2二期、峰延第1一期、 峰延第1二期、峰延第2一期、峰延第2二期、豊葦第1、 豊葦第2、中幌向一期、中幌向二期、上幌向第2、二号ため池、 砂浜東第1、砂浜東第2、クッタリ南、クッタリ北、毛陽滝の上、 大願北第1、三重、鶴城一期、鶴城二期、眺第1、眺第2、眺第3 (調査計画～茶志内沼東、大願北第2、稔北中央、大曲、双葉)
計	41	12,162,720	

3. 団体営土地改良事業

(単位：千円)

事業名	地区数	事業費	地区名
水利施設管理強化事業	1	159,994	北海
農業水路等長寿命化 ・防災減災事業	5	54,000	ほっかい、上幌、大曲、沼の内支線、茶志内幹線
計	6	213,994	

4. 施設管理費

(単位：千円)

区分	金額	内 訳
頭首工管理費	20,525	補修・保守費 8,030、賃金等 1,520、電気料 3,800、その他 7,175
貯水池管理費	17,958	補修・保守費 10,600、賃金等 2,440、電気料 1,400、その他 3,518
溝路管理費	128,361	補修・保守費 118,010、賃金等 1,200、電気料 1,800、その他 7,351
揚水機管理費	673,821	機電・機場・導水費 69,710、賃金等 53,439、電気料 522,000、その他 28,672
助成工事費	65,220	支線組合工事助成費 65,220
適正化事業費	132,100	適正化事業費 96,100、施設改善対策事業費 36,000
計	1,037,985	

人事通信

《おめでとうございます》

道土地連土地改良功労表彰

令和6年3月28日、道土地連通常総会の席上、農業農村整備事業功労者に表彰状が贈呈され、当区より次の方が受賞されました。

○職員

技術部 岩見沢事業所

主 査 大 坂 睦 祈

当区永年勤続表彰

○35年勤続

技 師 川 村 真 一

(技術部 工務課 副主幹)

総代の動向

▼第19期総代において、左記の方が退任されました。永年地域農業並びに当区業務運営にご尽力賜り厚くお礼申し上げます。

選挙区	氏 名	退 任 事 由
第2区	有ライスクラップ	資格喪失 令和6年2月9日
第4区	池 田 稔	使用貸借 令和6年3月26日

この退任に伴い、定数106名対し、現員104名(欠員2名)であります。

分水区長・支線組合長の動向

▼分水区長の異動がありましたのでお知らせ致します。今般退任されました分水区長には、これまで改良区にお寄せいただきました数々のご厚情に対し深甚なる感謝を申し上げます。今回新たに選任されました方には、前任者同様改良区業務運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

分水区名	退 任 者	在 任 期 間
岩見沢第4	長 内 良 一	令和2年～令和6年 通算4年間
岩見沢第5	佐 藤 隆 生	令和2年～令和6年 通算4年間

《新分水区長》

▽岩見沢第4分水区



鳥井 宣之 新区長(岩見沢市)

▽岩見沢第5分水区



佐々木輝彦 新区長(岩見沢市)

▼支線組合長の異動がありましたのでお知らせ致します。今般退任されました支線組合長には、これまで改良区にお寄せいただきました数々のご厚情に対し深甚なる感謝を申し上げます。

今回新たに選任されました方々には、前任者同様改良区業務運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支線組合名	退 任 者	新 任 者
茶志内中央	河 野 利 和	千 葉 博 茂
中小屋	戸 田 憲 一 郎	渡 辺 亮 二
2号川溜池	三 浦 義 信	加 藤 実
豊 正	永 桶 建 弘	清 野 学
豊 里	藤 井 幹 彦	高 橋 道 明
共 栄	久 保 哲 夫	山 本 幸 宏
北村南第1	小 松 昭 仁	斎 藤 正 彦
北村南第2	高 黒 哲 也	田 中 益 人
北村南第3	土 井 修	村 橋 哲 朗
北村南第4	伊 藤 毅	池 田 一 雅
北村南第5	佐 藤 愛 佳	釣 部 学

▼また、永年歴任いただき退任された方々に、その功績に対し顕彰規定により感謝状を贈呈いたしました。

退職

職員人事異動

支線組合	退任者	在任期間
共 栄	久保 哲夫	平成15年4月 ～令和6年3月 (通算21年)
豊 正	永 桶 建 弘	平成24年4月 ～令和6年3月 (通算12年)
茶志内中央	河 野 利 和	平成26年4月 ～令和6年3月 (通算10年)

▼3月31日付 (定年退職)

渡 部 哲 也
(技術部いわみざわ土地改良推進事務所技師)

▼3月31日付 (依願退職)

館 義 治
(技術部砂川事業所所長)

▼3月31日付 (依願退職)

笹 木 柊 也
(技術部砂川事業所技師)

▼3月31日付 (依願退職)

小 野 優 人
(技術部南幌事業所技師 南幌町センター出向)

四月一日付異動発令

▼総務部 総務課長役

小田 島 利 浩
(総務部 総務課主幹)

▼総務部 賦課調整課長

齊 藤 忠 義
(総務部 賦課調整課主幹)

▼技術部 砂川事業所所長

山 田 剛 志
(技術部 工務課主幹)

▼技術部 工務課主幹

橋 本 千 隼
(技術部 工務課副主幹)

▼技術部 管理課主査

近 藤 貴 洋
(技術部 南幌事業所主査 南幌町センター出向)

▼技術部 工務課主査

山 本 雄 貴
(技術部いわみざわ土地改良推進事務所主査)

▼技術部 岩見沢事業所副主幹

永 谷 拓 也
(技術部 岩見沢事業所主査)

▼技術部 岩見沢事業所主査

大 坂 睦 祈
(技術部 管理課主査)

▼技術部 南幌事業所主幹 南幌町センター出向

菅 井 剛 紀
(技術部 南幌事業所主幹)

▼技術部 南幌事業所主査

皆 川 正 行
(技術部 岩見沢事業所技師)



左から順に館さん、渡部さん、笹木さん、小野さん



定塚透心
(技術部 岩見沢事業所 技師補)

令和6年4月1日付で新規採用となりました。どうぞよろしくお願い致します。

新規職員採用

▼技術部 いわみざわ土地改良推進事務所 技師

安田和希

(技術部 岩見沢事業所 技師)

▼技術部 いわみざわ土地改良推進事務所 技師

高倉一樹

(技術部 岩見沢事業所 技師)

▼技術部 南幌事業所 技師 南幌町センター出向

尾崎祐慶

(技術部 南幌事業所 技師)

おくやみ

当区関係者において、左記の方々のご逝去されました。
ここに、生前中当区業務運営にご尽力賜りました事に深く感謝申し上げ謹んでご冥福をお祈り致します。

◎組合員

川端

悟氏 (奈井江町)

砂川第2分水區

令和6年3月7日 逝去

◎現職員

金子

忍氏 (岩見沢市)

総務部 賦課調整課 課長

令和6年3月10日 逝去



女性理事の登用について

第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）及び土地改良区長期計画（令和3年3月閣議決定）にて、土地改良区においても2025年度までに理事に占める女性の割合を10%以上にするという目標が定められました。

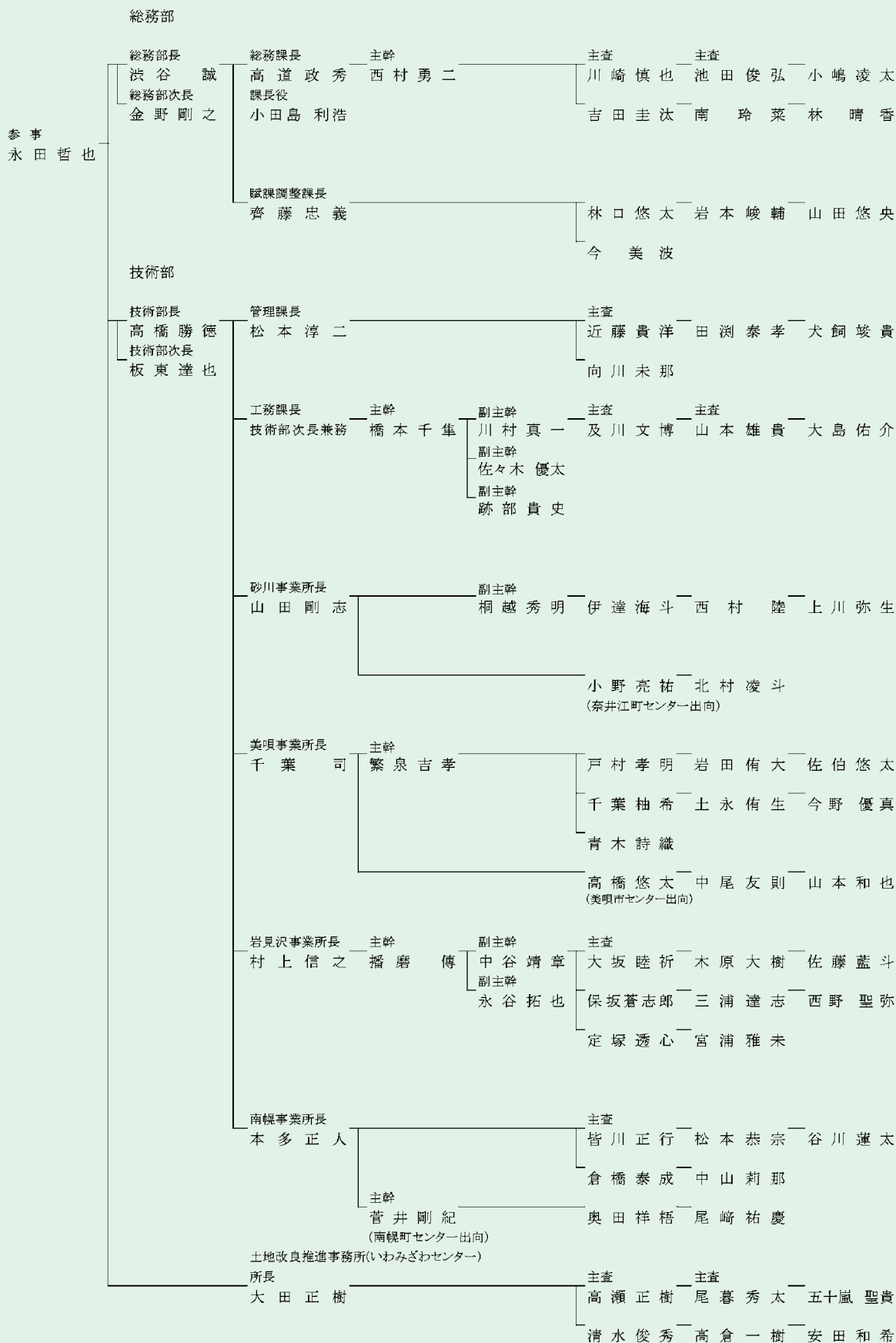
当区でも令和7年9月の役員改選期での登用に向け、員外理事制度等の導入も検討しながら目標達成に向けて準備を進めています。

「土地改良のこれから」を考え、女性組合員も活躍しやすくなる環境の整備に、組合員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

員外理事制度とは……

- 広く外部の意見を聞くために、組合員以外の者も理事に選ぶことができる制度です。
- 今回のケースでは、組合員（男性）ではなく、組合員の妻や親族、地域で活躍する女性など、身近な方からの選出が可能です。

業務執行体制 (令和6年4月現在)



【耕作道路通行に関するお願い】

用水施設や耕作道路を傷める可能性のある大型車両は進入しないようお願いいたします。損傷させた場合には、担当事業所と協議の上速やかな復旧対応をお願いいたします。



節水と節電にご協力を

近年の電力料金の値上げの影響で、揚水機場を主とする当区施設の電力料及び維持管理費も増嵩しております。

本年度も皆様のご協力を頂きながら万全な体制を整え利水調整を行ってまいりますので、引き続き節水と節電にご協力お願い申し上げます。

《 面積が変わった場合には必ず届け出を 》

農地が減ったり増えたりした時や、耕作者が変わった時はすぐ土地改良区に届出（名義及び地目変更又は地区除外の手続き）をして下さい。

届出がない場合は、そのまま賦課されますので、農業委員会、農業協同組合、共済等に手続きを行った際は、**必ず土地改良区にも届出を**お願い致します。

尚、いずれも農業委員会の書面、分筆図等の書類と印鑑を持参の上、届出をして下さい。

ほ場整備事業等償還金のある土地を売買する場合、繰上償還して頂きますので、ご相談ください。

（変更の手続きは、賦課調整課・各事業所まで）

※賦課金を滞納した土地の取得にはご注意を！

滞納している土地を購入すると、取得された方がその土地の滞納金を支払うことになります。

（土地改良法 42 条：権利義務の承認）権利義務の承認とは、土地に有した事業に関する権利（水使用）と義務（賦課金納入）を引き継ぐことです。従って、購入する際に土地代を決める場合は事前に当改良区に滞納の有無を必ず確認して下さい。

用水路への 転落事故防止について

今年も**四月下旬**から八月下旬まで当区の用水路には、たくさんの方が流れ、幼児・児童にとつては大変危険な時期となります。

昨年は、皆様のご協力により事故はありませんでしたが、今年も空知総合振興局と連携をとりながらの広報車による啓発、ポスターの掲示、風船、パンフレットの配布、防護柵、看板等の

整備、設置を行い転落事故を未然に防ぐべく活動を行って参りますので、組合員の皆様におきましても幼児・児童が用水路の付近で遊んでいるところを見かけましたら一言「あぶないよ」と声をかけていただきますたくご協力願います。

★今年の主な活動

ポスター	一六〇枚	掲示
風船	五五〇〇個	配布
パンフレット	五〇〇〇枚	配布
救難用ロープ	一八九ヶ所	設置



事故防止啓発ポスター

(幼稚園、小学校、他公共施設等に掲示)

☆用水路、排水路及び用地内に ゴミ等をすてないで!

五月の通水開始にあたり、用水路の整備点検を毎年行っておりますが、用水路の中は例年のごとく**家庭用のゴミ、稲株、空き缶等や大型ゴミ**が投棄されている状況にあります。尚、揚水機場・各取水施設等も同様です。

これが原因で通水に支障をきたすばかりでなく小さなお子さんには遊び場所にもなり大変危険ですので、ゴミ、稲株等は所定の場所にお願ひ致します。

☆灯油等の油脂類の 漏油にご注意ください!

近年、融雪時期及びかんがい期間中の用水路への漏油流入事故が相次いでいます。原因箇所の特定、処理に長い時間を要し消防・行政・改良区が苦慮している状況です。原因者が特定された場合には**高額な処理費用が発生**します。

組合員の皆様におかれましては、ご自宅周辺に設置されている**灯油タンク、農機具用の燃料タンク等の配管の点検、及び廃油等の処理**には十分にご注意ください。